

# 第 57 回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会開催ご案内

総会開催にあたって

会 長 高橋 志達  
(ミヤリサン製薬株式会社)

会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、2024年(令和6年)1月19日(金)、20日(土)の両日、東京におきまして第57回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

本学会は、無菌生物を用いた生理学、微生物学、免疫学的な基礎研究及び感染症や移植領域等の臨床医学的な検討、更には植物学まで、幅広い分野の研究者によって研究発表と活発な討論が行われて参りました。その成果の中には、近年の常在細菌叢又は病原性微生物と宿主とのかかわりを示す多くの知見や、造血幹細胞移植をはじめとした高度な微生物管理の医療応用があります。

今回の総会では理事長講演、特別講演、シンポジウム、教育講演、一般演題から構成いたしました。これまでの研究成果を振り返りながら、更なる無菌生物学の発展につながるような機会になればと切に願っております。会員の皆様には奮ってご参加いただき、多くのご発表とご議論をいただけますようお願い申し上げます。

会 期 2024年(令和6年)1月19日(金)、20日(土)  
会 場 北とびあ 飛鳥ホール(総会・学術集会)  
901会議室(理事・評議員会)  
17階レストラン「VIEW&KITCHEN QUAD17  
(クアドイチナナ)」(情報交換会)  
〒114-8503 東京都北区王子1丁目11-1 TEL: 03-5390-1100  
参 加 費 7,000円 学生会員 1,000円  
懇親会費 3,000円

日 程 (一部変更の可能性あります)

会 場	1月19日(金)	1月20日(土)
北とびあ 飛鳥ホール	13:30 - 14:00 開会の辞, 総会	9:10 - 10:00 一般演題II
	14:00 - 14:50 一般演題I	10:00 - 10:30 教育講演II
	14:50 - 15:20 教育講演I	10:30 - 11:30 特別講演
	15:30 - 16:00 理事長講演	11:30 - 11:40 佐々木正五賞授与
	16:00 - 17:30 シンポジウム	閉会の辞
	17:30 - 18:00 記念写真撮影	
	18:00 - 19:30 情報交換会	

特別講演 「消化器疾患における口腔-腸内細菌叢のクロストーク」

スポンサーシンポジウム 「無菌生物を用いた宿主-微生物間の相互作用研究」

一般演題申し込み

- a. 対象 本学会会員  
一般演題の演者と共同発表者は本学会会員であることを要します。未入会の方は日本無菌生物ノートバイオロジー学会事務局へ入会の手続きをしてください。無菌生物学・ノートバイオロジーに関する新しい知見を有する研究で未発表のものに限ります。
- b. 締め切り日 2023年（令和5年）10月27日（金）
- c. 申し込み方法 MS-Wordで読み込み可能な文書ファイルで申し込み書を作成の上、E-mailに添付して、第57回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会事務局 jagg57@miyarisn.comへお送りください。
- d. 申し込み書 ①演題、②発表者（演者の前に○をつけてください）、③所属、④抄録、⑤英文演題、⑥英文発表者、⑦英文所属、⑧英文抄録、⑨演者、連絡先、氏名、生年月日、⑩TEL、⑪FAX、⑫E-mailを明記してください。  
①～⑧を「抄録集」B5版見ひらき2頁（和文と英文）に印刷します。
- e. 略語 本学会の会員構成は広範な領域にわたっています。略語（abbreviation）は初出のところに「略さない形」（full term）をお示しください。

例)

第53回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会一般演題申込書（2019年9月1日）	
① 演題	bioBubbleとIVCを用いたマイクロバイオーム実験環境の構築
② 発表者	○何裕遥, 小倉智幸, 富山香代, 高橋利一
③ 所属	公益財団法人 実験動物中央研究所
④ 抄録	(1, 200字以内) I. 目的（またははじめに 背景等） 無菌マウスやノートバイオームマウスの飼育環境として…… II. 材料（または対象）と方法 IVCは日本クレア(株)製、BubbleはbioBUBBLE, Inc製…… III. 結果、考察、結論 実験1ではケージ交換を週に2回行う群は9週間の無菌……
⑤ 英文演題	Building of microbiome experiment using bioBubble and IVC
⑥ 英文発表者	○Yuyo KA, Tomoyuki OGURA, Kayo TOMIYAMA, Riichi TAKAHASHI
⑦ 英文所属	Central Institute for Experimental Animals (CIEA)
⑧ 英文抄録	(250 words 以内) Recently, it has been reported that germ-free mice can be reared in positive pressure individually ventilated……
⑨ 演者	連絡先、氏名、生年月日 〒210-0821 神奈川県川崎市 何裕遥 (19……年……月……日生)
⑩ TEL	044-201……内線1234
⑪ FAX	044-201……
⑫ E-mail.	……@ciea.or.jp

演題の採否はご一任くださいますようお願い申し上げます。演題が採択されましたら、機関誌「無菌生物」のプロシーディングスとして掲載する原稿をご提供いただきます。詳しくはお申込み後にご提案いたします。

日本無菌生物ノートバイオロジー学会事務所  
〒201-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町 3-25-12  
公益財団法人実験動物中央研究所 小倉智幸  
TEL : (044) 201-8520、FAX : (044) 201-8521  
E-mail : jagg@ciea.or.jp